8 月 号　令和２年７月31 日発行

荏田小だより

横浜市都筑区荏田南町６９４番地[TEL911－0149]
[http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/eda/]

根はみえねんだなあ
～見えない学力を豊かに～

校長　伊藤　智樹

学校が再開して２か月がたちました。７月からは給食に合わせて午後の授業も実施されるようになり、まだ一部制限がある中徐々ではありますが、「新しい学校生活様式」を取り入れながらの学校生活でした。明日８月１日（土）から１６日（日）まで夏休みに入ります。新型コロナ感染症の終息がまだ見えない中ですが、私たち一人ひとりが６月号の学校だよりにも書かせていただきました、『相手を気遣い、周りの人と共に幸せに生きる力、そして他者への思いやり、いたわり、優しさ、感謝の気持ち』をもって生活していくことが求められていると思います。

さて、40 年ほど前に発行された教育関係の本に「見える学力・見えない学力」があります。著者である岸本裕史氏は神戸市の小学校教師であり、百マス計算の生みの親でもあります。この著書で「見える学力・見えない学力」と言う概念を教育界に提起しました。この本は私の学生時代にアルバイト先の上司から「教師を希望するのならこの本を読むといいよ」と渡されたものです。

「学力」という言葉は、「全国学力・学習状況調査」「学力を伸ばす」など教育界ではよく使われます。先ほどの著書には、学力はテストや通知表等によって示される「見える学力」と、それを支える「見えない学力」とがあると書かれています。しっかりした学力を身に付けるためには、土台ともいうべき「見えない学力」を大きくしていくことが大切です。「見えない学力」とは、考察、判断、興味関心、探究心、想像力、直感力、バランス感覚など知識以外のすべてとも言えます。

花を支える枝
枝を支える幹
幹を支える根
根はみえねんだなあ
相田みつを

左の詩の作者は、相田みつをです。花や枝、幹を私たちは見ることができます。根は見えない地面の中で根を張って地面の中の栄養分や水分を吸い取り、植物全体へと供給されます。どんな大木でも大地に根が十分張らないと風雨で流されたり、倒れたりするリスクが高くなります。木全体を支えているのは、根であると言えます。見えているものを支えているものが、根です。この詩は学力だけでなく、人間としての生き方を私たちに問いかけているように感じました。

先日男の子が目を輝かせながら嬉しそうに私に話しかけました。「校長先生、田んぼで初めて見る生き物を発見しました。エビの仲間のようだけど校長先生名前分かりますか？」その男の子は大事にその生き物を持ち帰り、家でその生き物について調べ翌日に私に教えてくれました。

３年生の子どもたちが、中休みに中庭や校内を回りながら楽しそうに校内地図を描いている姿を見かけました。３年生で社会科学習が始まり地図のことを学習したことがきっかけだったのかもしれません。

生物の名前や種類をただ覚えるのではなく、田んぼの中で発見した生き物に対する好奇心、探究心は「見えない学力」とも言えます。校内地図を描いていた３年生の子どもについても同様です。

「見える学力」は学力のうちの一部です。学力のほとんどは「見えない学力」です。私たち教職員は、保護者・地域とも連携をしながら大地にしっかり根を張る子どもの育成に努めていきたいと思います。

【着任教職員の紹介】
７月に３名の教職員が着任しました。
○非常勤講師　　○○○○教諭　（３年図工、特別支援教育担当）
○非常勤講師　　○○○○教諭（４年書写、特別支援教育担当）
○職員室アシスタント　○○○○　　※本校の職員室アシスタントは２名体制となります。